

【徳島県】HP掲載版※

自治体意見・要望	気象庁回答
<p>気象警報の種類が増加することにより住民の方に、警報の重要性・緊急性が正確に伝わるか危惧している。特別警報運用にあたり、住民への周知を徹底していただきたい。</p>	<p>特別警報の運用開始以降も、広報活動を継続し、発表時に国民が適切な対応をとれるよう、最大限の努力を行います。</p>
<p>大雨の特別警報発表基準について、「数十年に一度の降雨量となる大雨」など表現が抽象的でわかりにくい。実際の運用に際しての降雨量等の数値について、事前に県及び市町村に十分に説明をいただきたい。</p>	<p>「数十年に一度の～」という基準に基づき、気象庁がどのような具体的数値や客観的な指標で特別警報を運用するのか、7月31日に気象庁ホームページに公開しました。</p>

※気象庁ホームページの「よくある質問」のページに掲載している趣旨のご意見・ご要望についてはそちらに掲載